

平成26年1月21日

TATEYAMASABO

PRESS RELEASE

本紙投げ込みを以て解禁

記者発表資料
富山県政記者クラブ
業界紙(実業建設新報社)
ケーブルテレビNET3

『本宮砂防堰堤を語る会』を開催します。 ～重要文化財指定をバックアップ～

本宮砂防堰堤及びその周辺施設等の文化的価値について、更なる理解を深め、本宮砂防堰堤の価値を再認識するため、昨年度に引き続き地域の住民の方々を招いて、本宮堰堤に関わりのある建設をはじめとした専門家からお話を聞く勉強会及び情報交換会を開催します。

日時 : 平成26年1月22日 (水) 18:00～20:00

場所 : 小見コミュニティーセンター
富山市小見255-13


* 詳細については、別添資料のとおり

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所
副所長 (技術) 帆苺 晃也
電話 076-482-1111 (代表)
FAX 076-482-1101

立山砂防事務所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂61番地
<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら 



国土交通省北陸地方整備局

本宮砂防堰堤を語る会

1. 開催主旨

本宮砂防堰堤及びその周辺施設等の文化的価値について、更なる理解を深め、本宮砂防堰堤の価値を再認識するため、昨年度に引き続き地域の住民の方々を招いて、本宮堰堤に関わりのある建設をはじめとした専門家からお話を聞く勉強会及び情報交換会を開催する。

2. 主催：立山砂防事務所

3. 開催日時、場所

- ・平成26年1月22日（水） 18:00～20:00
- ・場所：小見コミュニティーセンター（富山市小見255-13）
TEL：(076)482-1202

4. 参加人数：約60人を予定

5. 次第

- ・主催者挨拶 立山砂防事務所長 三上 幸三
- ・特別講演
「感動のベトナム研修」
講師：立山砂防女性サロンの会 アドバイザー
吉友 嘉久子 氏 30分
- ・話題提供
 - ・本宮砂防堰堤にまつわる歴史（立山砂防事務所） 10分
 - ・本宮砂防堰堤に携わった思い出
語り部：立山神通砂防スペシャルエンジニア
川田 孝信 氏 20分
 - ・本宮砂防堰堤にまつわる思い出
語り部：芦峯寺総代 佐伯 信春 氏 20分
 - ・本宮砂防堰堤の文化的価値の検証について（富山県） 20分
 - ・その他（フリートーク等） 20分

6. ご協力頂いた皆さま

地域住民（周辺集落の方々）

小見小学校

常願寺川水辺の楽校人・川・ふれあい連絡会

立山砂防女性サロンの会

TJSSE（立山神通砂防スペシャルエンジニア）

富山県建設業協会

富山県測量設計協会

地盤工学会 北陸支部

土木学会関東支部新潟会

全国治水砂防協会立山支部

富山市

立山町

富山県

「本宮砂防堰堤を語る会」を開催しました。



本宮砂防堰堤及びその周辺施設等の文化的価値について、更なる理解を深め、本宮砂防堰堤の価値を再認識するために建設等に関わりのある地元の方々を招いて勉強会を開催しました。

・開催日時：平成24年11月27日 18:00～20:00

・開催場所：富山市小見コミュニティセンター

・参加者：約70名

・勉強会内容

○特別講演

「女性サロンの会 台湾視察旅行記」

講師：立山砂防女性サロンの会

アドバイザー 吉友 嘉久子 氏

○本宮砂防堰堤について

立山砂防事務所 三上 幸三

○地元住民の本宮砂防堰堤に関する語り

「本宮砂防堰堤での思い出」

語り部：芦峯寺総代 佐伯 信春 氏

「常願寺川の治水と本宮砂防堰堤」

語り部：大山歴史民族資料館 山森 潔 氏

○世界遺産に向けた取り組み

富山県砂防課副主幹 川上 孝裕 氏

○その他（フリートーク等）

○ご協力頂いた皆さま

・小見小学校 ・人・川・ふれあい連絡会

・立山砂防女性サロンの会

・TSSE(立山砂防スペシャルエンジニア)

・社団法人 富山県建設業協会 ・社団法人 富山県測量設計業協会 ・社団法人 地盤工学会 北陸支部 ・社団法人 土木学会 関東支部 新潟会

・全国治水砂防協会 立山支部 ・富山市 ・立山町 ・富山県 ・立山砂防事務所 ・周辺集落の方々



吉友さんの特別講演



地元の方々



語る会開催状況



三上所長



川上副主幹



佐伯さんの語り



山森さんの語り

本宮砂防堰堤を語る会は、いことを確認した。27日、富山市の小見コミュニティセンターで約70人、の練習をし、魚を捕が参加して開かれた。地域、まえたりして遊んだ少年時住民が堰との思い出を語、代の思い出を語、「本宮り、本宮砂防堰堤を含む立、砂防堰を後世に語り継い山砂防施設群全体を「防災、でい」と呼び掛けた。大山歴史民族資料館職員を自指す県と力を合わせての山森さんが戦前、記憶

世界遺産登録目指し

本宮砂防堰堤の思い出語る 富山

を繰り返した常願寺川の治水の歴史を振り返った。県職員が世界遺産登録の表現に向けた取り組みを紹介し、住民の協力を求めた。同堰堤は1937（昭和12）年に完工し、500万立方メートルの貯砂量を誇る。

総代「富山市の小見コミュニティセンター」

世界文化遺産登録を目指す本宮砂防堰堤

富山新聞28日朝刊